

令和5年2月7日

報道関係者各位

山県市

岐阜大学と連携し脱炭素社会リーダー 育成短期研修プログラムを実施

山県市（市長 林 宏優 以下 当市）は、国が掲げる2050年脱炭素化に向けて、本年度を当市の「脱炭素元年度」と位置づけ、脱炭素に関する各種施策を進めています。

そこで、将来の世代へ持続可能な山県市をつないでいくために、岐阜大学地域協学センターと連携し、市内をフィールドとした短期研修プログラム（全5回）を実施します。

当プログラムは、カーボンニュートラルに関する基本的な知識・理解を深めるとともに、講義などで学んだ脱炭素社会実現に必要な知識を、地域住民・事業者や専門技術者、行政職員などのさまざまな人との対話と、学生同士でのグループ活動を通じて、脱炭素社会のアイデアを考え、脱炭素社会に対応できる人材育成を目的とするものです。

岐阜大学は2009年に「環境ユニバーシティ宣言」を掲げ、教育・研究・社会貢献の分野で環境活動を幅広く展開してきました。また当市との包括連携協定（2016年締結）に基づき人材育成などの協働活動を行ってきました。このたび新たに環境省「令和4年度教育機関と連携した地域再エネ導入促進及び地域中核人材育成研修」事業に採択（全国15大学採択）され、将来の脱炭素社会を担う大学生を対象とした人材育成に取り組みます。地域との対話の場づくりや学生による地域実践活動のノウハウ・強みを生かし、「地域活性化の中核拠点」として大学・産業界・地域発展の好循環モデル形成を目指します。

<主催>

国立大学法人 東海国立大学機構 岐阜大学 地域協学センター

<実施協力>

山県市、山県市脱炭素協議会、株式会社アール・エ北陸、
大阪府豊能郡能勢町、株式会社能勢・豊能まちづくり など

<研修テーマ>

地域共創で脱炭素アイデアをつくろう！～住みたくなるまち山県市を目指して

<参加者>

岐阜大学に在学する学部生・大学院生（10人）

<研修プログラム>

次ページ参照

研修プログラム

<第1回>

日時	2月14日（火）10時～15時30分
場所	岐阜大学（岐阜市柳戸1-1）地域協学センター
内容	（講義）山県市と脱炭素協議会の紹介 （演習）RESAS および地域経済循環分析ツールを使った地域分析

<第2回>

日時	2月16日（木）9時～16時30分
場所	山県市保健福祉ふれあいセンター3階ボランティア室（山県市高木1000-1）
内容	（WS）カードゲーム「2050カーボンニュートラル」体験 （WS）市内視察

<第3回、第4回>

日時	2月21日（火）、22日（水）終日
場所	大阪府豊能郡能勢町内
内容	先進事例視察

<第5回>

日時	2月28日（火）9時30分～16時
場所	山県市保健福祉ふれあいセンター3階ボランティア室
内容	（WS）山県市および先進地視察フィールドワーク成果まとめ （WS）フィールドワーク成果発表 （WS）ぎふフューチャーセンター 「山県市の脱炭素社会の未来の姿を描く」 （WS）脱炭素まちづくりプラン 発表 山県市長 林宏優 による講評、修了証交付

※当日の取材に関しまして、マスク着用、検温、消毒などの新型コロナウイルス感染症対策にご協力いただきますようお願いいたします。

【本件に関する報道関係者からのお問い合わせ】

岐阜大学 地域協学センター 担当：伊藤

Tel：058-293-3884 Fax：058-293-3881

山県市まちづくり・企業支援課 担当：笠井

Tel：0581-22-6831 Fax：0581-22-2118

Mail：machi@city.gifu-yamagata.lg.jp